

## ●個別学習 ■児童生徒実践型

堺市立深井西小学校  
岸野 ひろ子／三浦 仁美

## 実践タイトル DSで都道府県名を覚えよう

## 主に活用したICT機器・教材・コンテンツ等とそのねらい

## その他(教育用DS)

- 一人ひとりが理解の度合いに応じて、都道府県名を覚えることができる。

その他  
(教育用DS教室システム)

- オリジナルの問題を作ることもでき、一人ひとりが進んで学習に取り組むことができる。

## 参考にしてほしいポイント

- 教育用DS教室システムのオリジナル問題を活用し、一人ひとりが学習時間の導入の5~10分程度の時間でも、それぞれの課題に応じてステップアップしながら、都道府県名を覚るために集中して学習を進めることができる。
- 電子黒板に、その問題の進行状況を提示して、児童それぞれに指導することができる。

## 本時の展開(主な学習活動)

学習の流れ(分)		主な学習活動	ICT機器・教材、コンテンツ等
導入	0	・本時の目標を確認する。 ・教育用DSのオリジナル問題に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>電子黒板</li> <li>実物投影機</li> <li>教育用DS教室システム</li> <li>教育用DS (写真1~3)</li> </ul>
	10	・電子黒板で進行状況を確認する。	
展開	10 35	・わたしたちの県についての学習を進める。	
まとめ	35 45	・まとめの学習も兼ねて、教育用DSのオリジナル問題に取り組む。 ・電子黒板で進行状況を確認する。	



写真1：4択問題に取り組む

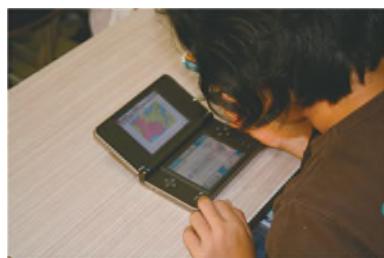


写真2：同じ問題に何度も取り組むことができる



写真3：実際に地図帳を見て確かめる

## ICT活用への児童生徒の反応等

- 教育用DSが一人1台あることにより、学習に取り組む児童は、素晴らしい集中することができる。
- 機器に対するスキルも難しくなく、児童相互に情報を交流しながら、学習を進めることができる。
- 問題がステップアップする形で作られており、限られた時間で既習学習の習得を自分で確認することができる。

## 活用効果

評価の観点	・社会的事象への関心・意欲・態度	具体的変容	・一人1台の教育用DSで学習することにより、集中して問題に取り組め、さらに理解に応じて進めることができた。
-------	------------------	-------	---

## 実践の手応え

- 教育用DSに対する興味が強く、問題に取りかかり始める一瞬に、集中する様子が見られ、さらに、それが持続することが素晴らしいと感じた。